

終わるアダ花です。

本来の目的だけが満足されていれば良いとはいきません。それが、小さくしか評価されないのであれば、バンドの削減（事実上の削減の場合が多いが）の方向は目に見えています。本来の目的が単に狭い趣味のために見えるからです。社会的な重要性をアピールすることができないと、結局、「俺たちが前からいたんだ」「後から入るやつは遠慮しろ」と言う既得権の主張だけになり、ますます、苦しくなります。

社会は色々な要素でできていると思います。お金儲けや義務だけでできていません。また、自分達だけの趣味だけのためではありません。最近の流行語で言えば、直接利益を生まないものには、社会貢献の有無が主張のポイントになります。アマチュア無線は社会貢献でもっと主張すべきですが、トーンは低いですね。

(5) 社会貢献としてのアマチュア無線

かつてHFバンドは利用できないバンドだからアマチュアに割り振られました。しょうがないので、一生懸命機器やアンテナを作りバンドを開発しているうちに、遠距離通信の可能性を発見したので。また、VHFやUHFの異常伝播などの発見に貢献しました。これらは大きな社会貢献です。このおかげで、免許制度もしっかりし、マイクロ波やミリ波までも入るバンドを確保できました。大きなご褒美を社会からいただきました。

しかし、それは過去のことで。過去の遺産があまりにも大きいので狙われているのです。私はホームページ（中川研究室）にもありますが、次のような貢献を考えたらと提案しています。

(あ) アマチュア放送

電波利用の放送はイベント放送などまだまだ魅力があります。本格的な放送にするには電波法や放送法の改正も必要でしょうが、その程度の主張があってもと思います。

実用的なのは、お祭り、運動会、文化祭などのイベント放送でしょうか？アマチュアの周波数も受信できるワイドバンド受信機もウォークマン型で売り出すことができるでしょう。将来は携帯がどんどん進化し、放送受信もできることになり、アマチュアバンドも一緒に受信できると思います。携帯でイベント放送の周波数を調べてクリックすると聞こえてきたり、データがどんどん入ってくるという具合です。まずはHAMフェアで実験するとよいでしょう。

コミュニティーFM（20W出力）の需要は大きくて、現在100以上の局が許可を待っています。いつになったら許可がおりるか分からない状態です。80MHz帯はいっぱいです。

本格的でない放送にはデータマルチキャストのような通信と放送の中間があるでしょう。

(い) 学術的な研究バンド

もともと、アマチュアの目的は技術的興味による研究にあったはずですが。その結果を利用し直接製品にしたりするのは禁じられていると思いますが、NPO的な活動ならば良いと思います。しかし、あまり最近では知られていません。もっぱらコンテストやラグチューと言った娯楽的な要素が強いと思います。

(う) 環境監視バンド

アマチュア衛星で環境を監視したり、森林のあちこちに監視カメラを設置し、無線で飛ばし（太陽電池利用）野鳥や生物を監視するようなネットワークに利用します。NPOの活動をサポートします。

(え) その他

当方の狭い視野だけではこのくらいですが、他に面白いアイデアをお待ちしています。

e-mail ja1jum@mui.biglobe.ne.jp